

| 放課後等デイサービス自己評価表 集計および施設内会議結果 | | | | 施設名： アプリ児童デイサービス桑名野田 | | |
|---------------------------------|---|---|----|----------------------|-----|---|
| 公表：令和6年2月21日 自己評価実施職員数： 10人 | | | | 検討会議実施日： 令和6年1月30日 | | |
| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善を要する点の有無 施設内会議での意見 |
| 環境・ 体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 5 | 3 | 1 | ご家族様意見の中にどちらともいえないの方が見えました。施設内の説明を職員とも1度する必要があると感じました。職員会議にて説明していきます。 |
| | ② | 職員の配置数は適切であるか | 7 | 2 | | 職員にも配置数に関しての説明をしていきます。その中で一人一人の職務を明確にしていくべきだと思います。配置は、あっていますが一人当たりの仕事量の違いが少し目立ちます。個々の能力の向上を目指します。 |
| | ③ | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | 7 | 2 | | トイレの手すりがあった方が良いという意見がありました。上司と相談していきます。ご家族様の意見にもどちらともいえないの方が半分以上だったので、面談の際に説明をしていきます。 |
| 業務改善 | ④ | 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | 8 | | 1 | 施設目標は大きく掲示してあります。しかしPDCAサイクルは、ままり機能していないので、まずはプランニングをしっかりと行うことから始めていきます。その後フィードバックをするシステムを構築していきます。 |
| | ⑤ | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 7 | 2 | | 評価表の結果を職員が知らないというところが問題点でした。伝える・見える化を行い、職員に周知していきます |
| | ⑥ | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 5 | 1 | 2 | 公開していますが公開していることを知らない方もいるため会議等で伝えていきます。 |
| | ⑦ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 3 | 6 | | 知らないが多い為、監査などが入った際は、結果を職員と共に改善していきます。 |
| | ⑧ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 8 | 1 | | 研修にて分かりやすい説明を行います。職員に何をしてほしいのか？を明確に伝えていけるようにしていきます。 |
| | ⑨ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 8 | 1 | | アセスメントを行っています。ご家族様との面談もしっかりできています。その内容の共有があまり出来ていませので、パートさんにも面談記録を確認してもらうようにしていきます。 |
| 適切な 支援の 提供 | ⑩ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 8 | 1 | | 使用できています。アセスメントを取る際に細かく聞いています。 |
| | ⑪ | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 8 | 1 | | 社員が行っていることが多いです。パートさんの意見も取り入れてあげていけると施設全体が盛り上がりて行くと思います。パートさんにもレクリエーションなど担当してもらい全員で取り組んでいけるようにしていきます。 |
| | ⑫ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 4 | 4 | | 何をしたいのか？どうしてこれをするのか？を伝えていきます。工夫とは何か？今後しっかり考えて作っていきます。 |
| | ⑬ | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 8 | 1 | | 休日・平日に関する課題決めが必要です。さらに細かく明確に行っていきます。 |
| | ⑭ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | 8 | 1 | | 日数が少ない児童に関しては、計画が偏ってしまうことがあります。両方で考えていけるように、今後努めていきます。 |
| | ⑮ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 8 | 1 | | 朝礼は、毎回必ず行っています。しかし勤務時間が異なるため全職員に伝わっていないことがありますので、朝礼を欠かさず動画に撮り、残りの職員にも共通することを忘れずにやっていきます。 |
| | ⑯ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 9 | | | 共有は出来ていますが、次の日に反映されていないこともあるため、振り返りが出来るようにしていきます。管理者が1週間の振り返りシートを記載するようにしていきます。 |

| | | | | | | |
|--------------|---|--|---|---|---|--|
| | ⑰ | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 4 | 4 | | 記録がとれない職員に関しての意見が多く出ました。しかし教えること以外の解決策はありませんので、まずどうしてほしいのか？を明確に伝えていきます。 |
| | ⑱ | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 9 | | | しっかり記入出来ています。モニタリングも全員が読めるようにしていきます。 |
| | ⑲ | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか | 8 | 1 | | ガイドラインを全員しっかり読みます。活動を決めるに目的をしっかりと決めるように改善していきます。 |
| 関係機関や保護者との連携 | ⑳ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 8 | | 1 | 管理者・児発管が参加しています。担当者会議などに関して職員全員に内容共有していきます。 |
| | ㉑ | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | 9 | | | 管理者・社員が担任の先生・支援の先生の人物の確認がとれていないことがあります。ご家族様も含めて学校の協力のもと行っていきます。 |
| | ㉒ | 医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | 9 | | | 現在医療的ケア児童は、いません。 |
| | ㉓ | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 9 | | | 行っていません。管理者・児発管から連絡して協力体制がとれるようになっていきます。 |
| | ㉔ | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | 9 | | | 行っていません。管理者・児発管から連絡して協力体制がとれるようになっていきます。 |
| | ㉕ | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 8 | | 1 | 連携の部分で自分から連絡する回数も増やせると良いと思います。管理者・児発管が積極的にコミュニケーションを図りにいきます。 |
| | ㉖ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | | 3 | 6 | ありません。今後も予定なしです。 |
| | ㉗ | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | 2 | 1 | 6 | 積極的に参加しているわけではありません。地域交流に関する知識を向上させ、地域に入っていけるようになっていきます。 |
| | ㉘ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 9 | | | 出来る人と出来ない人がいます。まずは、課題を全員確認をすることからはじめていきます。 |
| | ㉙ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | 8 | | 1 | 管理者・児発管がまず勉強をして保護者に出来るようになっていきます。 |
| 保護者への説明責任等 | ⑳ | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 9 | | | 契約は丁寧に説明しています。不足部分がないか他者に確認してもらいます。 |
| | ㉑ | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 9 | | | 管理者1年目。まだまだ不慣れな部分も多いかと思いますがこちらから話かけることが大事だと思います。最初から相談されることはありません。この人に話したいと思わせるように自分から最近どうですか？アプリでは、こうですよ。など話しかけていきます。 |
| | ㉒ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 3 | | 6 | 開催していません。今後も予定をしていません。 |
| | ㉓ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 9 | | | 対応しようとしています。しかしまだ迅速に対応出来ていない部分もあるかもしれませんが、他者の意見を聞きながら迅速に対応できるようにしていきます。 |
| | ㉔ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 4 | 2 | 3 | 会報を作ることはありません。活動の様子に関して今後写真などで伝えていければと考えています。 |
| | ㉕ | 個人情報に十分注意しているか | 9 | | | 来ています。何がダメで何が良いか？と聞かれると難しい部分があった為、共通認識をもてるように職員と話し合います。 |
| | ㉖ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 9 | | | 怪我や起きたことに関してしっかり伝えられています。管理者は、直接言えなかった場合・他の職員が伝えた場合は改めて電話をしましょう |
| | ㉗ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | 3 | 4 | 2 | 現在は行っております。もし実施をする際は、準備が大切だと思いますので、計画的にいきます。 |

| | | | | | |
|---------|----|---|---|--|---|
| 非常時等の対応 | ③⑧ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 9 | | マニュアルについての理解が少し少ないです。あることは知っています。新しい職員への教育不足、古い職員は忘れてしまっている可能性があるため、定期的な読む機会をつくるようにします。 |
| | ③⑨ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 9 | | 非常水の数が足らなかった。必要本数の理解が全員ではありませんでした。今一度確認をして準備をしていく必要があります。職員会議で伝えていきます。 |
| | ④⑩ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 9 | | 職員の予測することで防げる可能性もありますので、行動を予測していけるように朝礼で毎回話をしていきます。予測出来ない場合は、「もしも〇〇だったら」をみんなで共有していきます。 |
| | ④⑪ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 9 | | 身体拘束の記録がある児童はいません。しかし身体拘束についてしっかり共通理解をして、たくさん事例を出し合い全員の認識を一緒にしていきます。 |
| | ④⑫ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 9 | | アレルギーに関しては、お菓子を分類する際に分かりやすく仕分けをすることになりました。当日のアレルギーが誰なのかを明確にしていきます。アレルギーについて毎日朝礼で確認します。 |
| | ④⑬ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 9 | | ヒヤリハット共有が少なく困っていることがある。終礼を社員で行い次の日に努めるようにしていきます。 |

保護者向けアンケートをふまえての改善点・意見など

- ・アンケートの回収は、来ていますがコメントに記載されている方が少なくご意見としては、良いも悪いも少なかったように感じます。日頃からのコミュニケーションを図り改善をしていきたいと思えます
 - ・伝えるという部分で問題があると思いました。細かく発信できるように改善をしていきます。
 - ・ヒヤリハットの共有で記録としてとっていくことをしっかり行い、当たり前の行動、いつもの様子、とにならないようにしていきたいと思えます。
 - ・目的を言う習慣をつけ、意味のある支援ができるようにしていきます。
 - ・互いに言えない・言わないということをなくし、子供達の為に支援が出来るように職員で力をあわせる必要があると感じました。
 - ・PDCAサイクルがあまり機能していませんので、その部分の強化をしていきます。
- ※今後の改善として、「目的を明確に！」「個々の役割を果たす！」「事前に準備をする習慣を作る！」「確認する習慣も作る！」
 ※報・連・相も含めてコミュニケーションということ、大切にしていける施設運営を心掛けていきます。